

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

(1) 引当金の計上基準について

退職給与引当金 …… 期末退職給与の自己都合要支給額に相当する金額を計上している。

(2) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
貸付信託	7,500,000		7,500,000	0
定期預金	37,500,000	7,500,000		45,000,000
小 計	45,000,000	7,500,000	7,500,000	45,000,000
特定資産				
退職給与引当預金	6,032,210	1,033,400		7,065,610
小 計	6,032,210	1,033,400		7,065,610
合 計	51,032,210	8,533,400	7,500,000	52,065,610

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正 味財産からの 充当額)	(うち一般正 味財産からの 充当額)	(うち負債に 対応する金額)
基本財産				
貸付信託				
定期預金	45,000,000			
小 計	45,000,000	0	0	0
特定資産				
退職給与引当預金	7,065,610		1,033,400	
小 計	7,065,610	0	1,033,400	0
合 計	52,065,610	0	1,033,400	0